

氏名	あおき のぶ ひろ 青木 誠 弘	職名	准教授	就任年月	2012年(平成24年)4月
【学歴】	2002年3月 信州大学 農学部 応用生命科学科 卒業 2005年3月 筑波大学 第一学群 社会学類 法学主専攻 卒業 2012年3月 筑波大学大学院 博士課程 人文社会科学研究科 社会科学専攻 単位取得退学				
【取得学位】	工学準学士 農学学士 法学修士				
【職歴】	茨城県立 中央看護専門学校 非常勤講師 (2012年3月まで) 都城工業高等専門学校 非常勤講師 (2015年4月から2017年3月まで)				
【専門分野】	憲法				
【研究課題】	憲法訴訟 憲法制定史 議員定数不均衡				
【担当科目】	憲法(統治) 国際法 スポーツ法学				
【学会・社会活動】	日本公法学会 日米法学会 九州法学会 憲法理論研究会 全国憲法研究会 広島公法研究会 関西アメリカ公法学会 九州公法判例研究会				

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
学術論文 (単)	アメリカにおける連邦裁判所の「歓迎されない責務」と選挙区の区分を改正する州の立法者の権限 —League of United Latin American Citizens v. Perry, 548 U.S. 399 (2006) を素材として—	筑波法政 5 1 号 101 頁	2011 年 9 月
学術論文 (単)	和解に基づく選挙区割りの変更と従前の区割りに対する違憲審査 —Lawyer v. Department of Justice, 521 U.S. 567 (1997) を素材として—	筑波法政 5 2 号 99 頁	2012 年 2 月
学術論文 (単)	参議院議員定数不均衡訴訟における判断枠組みの変化 —平成 24 年大法廷判決を契機として—	宮崎産業経営大学 法学論集 22 巻 1・2 号 1 頁	2013 年 3 月
学術論文 (単)	衆議院議員選挙をめぐる「一票の較差」問題に関し 3 段階の判断枠組みが示された事例—最大判平成 25 年 11 月 20 日民集 67 巻 8 号 1503 頁—	宮崎産業経営大学 法学論集 23 巻 1・2 号 119 頁	2015 年 3 月
学術論文 (単)	「一票の較差」判決のテキスト分析	九州法学会会報 2015 年 27 頁	2015 年 11 月
学術論文 (単)	「一票の較差」判決におけるテキストの変遷—平成 2 7 年の大法廷判決までを対象として—	宮崎産業経営大学法学論 集 24 巻 1・2 号 103 頁	2016 年 3 月
学術論文 (単)	参議院議員選挙として初の合区が導入された定数配分規定の合憲性	法学教室増刊速報判例解説 Vol.20 新・判例解説 Watch 2017 55 頁	2017 年 4 月
学術論文 (単)	合区の違憲性に関する一考察	宮崎産業経営大学法学論 集 26 巻 1 号 25 頁	2017 年 11 月
学術論文 (単)	立法不作為事案と国家賠償法「2」条 1 項の理論的な親和性	憲法理論研究会編 『憲法の可能性〈憲法理論叢書 27〉』 229 頁	2019 年 10 月
学術論文 (単)	八月革命説に対する一つの代替案	九州法学会会報 2019 年 9 頁	2019 年 11 月
学術論文 (単)	裁判例に見る主観の問題の追及可能性 —教育における活用を念頭に—	宮崎産業経営大学研究紀要 31 巻 1・2 号 21 頁	2021 年 3 月
学術論文 (単)	「不平等を強いる不平等」と「有責性のない違憲行為」—2 度の夫婦別氏訴訟を契機として—	宮崎産業経営大学法学論集 30 巻 1・2 号 21 頁	2022 年 3 月
学会発表 (単)	「一票の較差」判決のテキスト分析	九州法学会第 120 回学術大会	2015 年 6 月
学会発表 (単)	立法不作為事案と国家賠償法「2」条 1 項の理論的な親和性	2018 年度憲法理論研究会夏季 合宿研究会	2018 年 8 月
学会発表 (単)	八月革命説に対する一つの代替案	九州法学会第 124 回学術大会	2019 年 6 月